信濃川水系　鹿島川　洪水浸水想定区域図（2/2）（想定最大規模降雨）

1 説明文

（１）この図は、信濃川水系鹿島川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の鹿島川の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により鹿島川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

（１）作成主体　長野県

（２）指定年月日　令和4年 8月26日

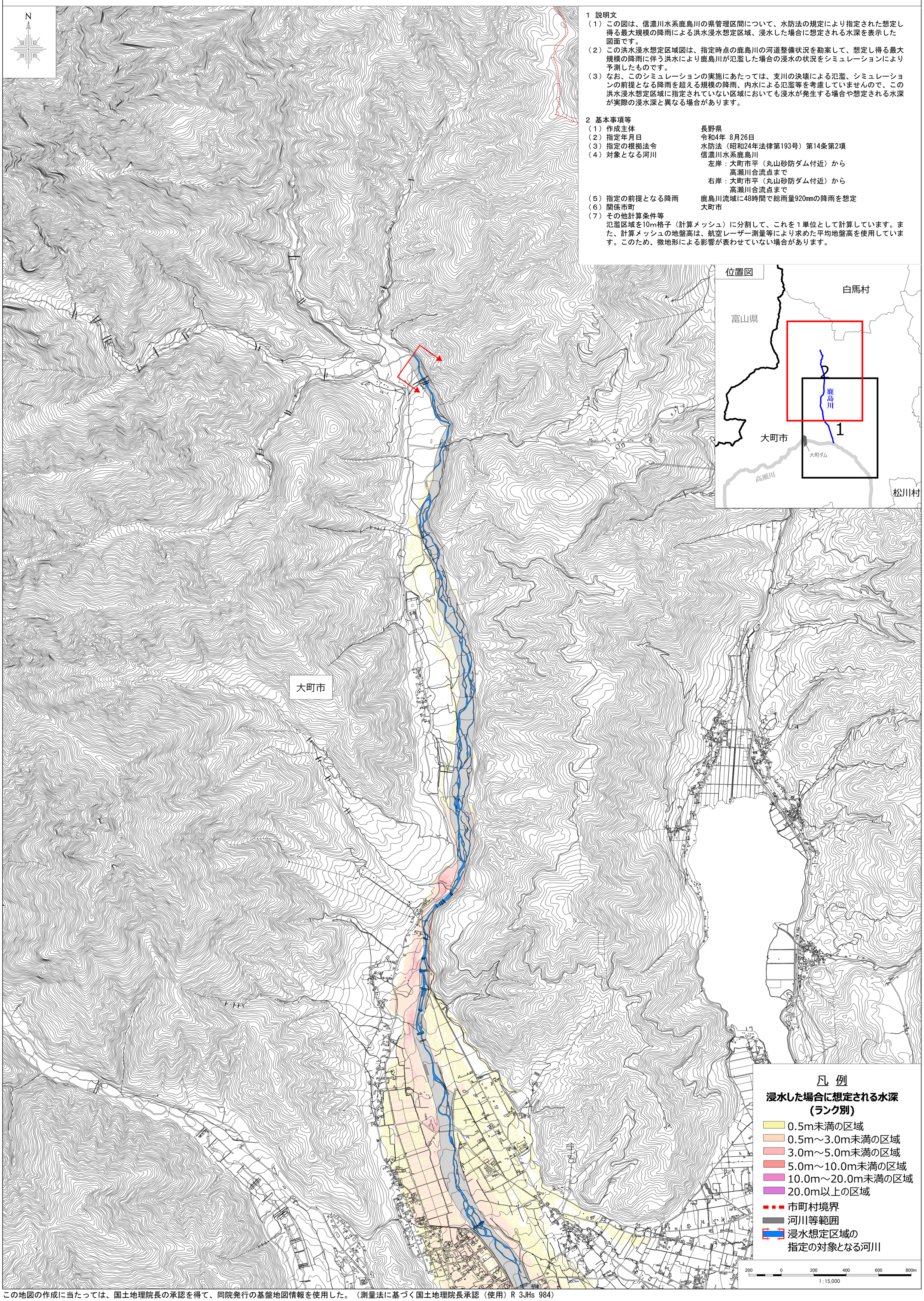
（３）指定の根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

（４）対象となる河川　信濃川水系鹿島川
左岸：大町市平（丸山砂防ダム付近）から高瀬川合流点まで
右岸：大町市平（丸山砂防ダム付近）から高瀬川合流点まで

（５）指定の前提となる降雨　鹿島川流域に48時間で総雨量920mmの降雨を想定

（６）関係市町　大町市

（７）その他計算条件等
氾濫区域を10m格子（計算メッシュ）に分割して、これを１単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わせていない場合があります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 984）